

大原社会問題研究所五十年史

III 本格的事業の展開から東京移転まで〔一九二三～三六年〕

櫛田民蔵氏の死去

櫛田研究員は十一月一日自宅にて執筆中突然脳出血にて昏倒、直ちに帝大病院に入院したが五日午後七時五五分永眠した。高野、森戸、久留間氏は上京して、大内、権田の諸氏と共に七日の告別式に列席した。研究所は同一九日、改造社より出版される櫛田全集編集のために、同氏の論文掲載の雑誌、パンフレット等を東京に送った。越えて一二月七、八日大阪における委員総会の閉会后、研究所において故櫛田研究員追悼会が開かれた。追悼会には櫛田ふき夫人はじめ所内外の関係者四六名が参加し、大内氏司会のもとに高野氏ほか数氏の追憶談があった。

法政大学大原社会問題研究所五十年史

発行 1970年11月

編・発行法政大学大原社会問題研究所

[前のページ](#) ← [法政大学大原社会問題研究所五十年史【目次】](#) → [次のページ](#)

[研究活動・刊行物](#) [OISR.ORG全文検索](#)

[法政大学大原社会問題研究所\(http://oisr.org\)](http://oisr.org)
